

# 今年度より導入！！

## 嚥下内視鏡について知ろう！

当院では、お食事の際にむせたり、上手く飲み込めなかったりする患者様や、誤嚥性肺炎（食べ物が誤って肺に入ってしまうことで生じる肺炎）を起こす可能性がある患者様に対して、飲み込みの状態を確認するための嚥下内視鏡検査（videoendoscopic examination of swallowing：VE）を行っております。

### 嚥下内視鏡検査とは

鼻の穴から細い内視鏡を挿入して、のどの中の飲み込む動作を直接映像で確認し、飲み込みの状態を検査するものです。

嚥下内視鏡検査のメリットは、①機材の移動が可能のため自室におられる患者様にご負担なく検査を行えること、②患者様が実際に食べているもの・食べたいものを用いて摂取状態を評価できること、③のどの動きと食物の流れを詳しく評価できることです。



（嚥下内視鏡について学んでいる様子）

### 嚥下内視鏡検査内容について

検査にかかる時間は 15～30 分程度です。

患者様・ご家族・医療スタッフ（医師・看護師・言語聴覚士）が画像を一緒に見て話し合いながら、飲み込みの状態を評価していきます。誤嚥や咽頭残留（食べ物を飲み込んだ後にのどに残ること）がある場合、食事をするときの姿

勢や食物形態の見直し、一口量の調整、食べる順番の工夫など、さまざまな飲み込みの方法を試しながら効果を検討します。『検査中に試すことができる』というところにこの検査の大きな意義があります。

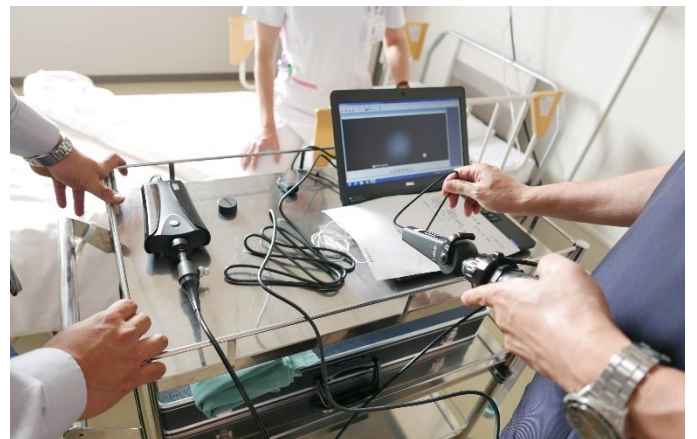
当院では検査結果に応じて、医師・看護師・言語聴覚士・栄養士を始めとした医療スタッフによるリハビリテーション（摂食機能療法）を実施しており、摂食嚥下障害でお困りの方の食生活を改善・維持するための支援を行っております。

### こんな症状がある方は注意！！

飲み込みの問題が疑われる症状は次のような場合です。

- 食事にむせることがある
- 唾液が口の中にたまる
- 飲み込むのに苦労することがある
- 固いものが噛みにくくなった
- 痰が出る、痰が増えた
- 声が変わった（がらがら声や鼻に抜ける声）
- 食事を残すことが多い（食べる量が減った）
- 体重が減った（この1ヵ月で5%以上、半年で10%以上）

気になる症状があればどうぞお気軽に医師にご相談ください。



（このような器具で検査します！）